



# 岡山県原水協通信

2015年10月25日 No356  
原水爆禁止岡山県協議会  
700-0981 岡山市北区西島田町4-25  
TEL086-244-4526 (F)805-6172  
[kenmin@po5.oninet.ne.jp](mailto:kenmin@po5.oninet.ne.jp)

## 被爆の実相を継承します。 岡山「被爆2世・3世の会」を結成



10月24日、岡山市西川原プラザで岡山「被爆2世・3世の会」結成総会が開かれました。総会は70人近くの参加者であられ、テレビ、新聞各社も取材に訪れ関心の高さを示しました。

準備会を代表し加百智津子さん(2世・総社市在住)は「被爆者の想いを私たちが力を合わせて引き継いで行こう」と挨拶。志賀雅子さん(2世・水島在住)が経過、会則、会員拡大や、2世・3世検診の充実、会報の発行などの活動方針を提起し承認されました。

結成会には県被爆者会土屋会長、津山2世の会木原

会長、岡山県反核医師の会松岡会長が来賓として参加され、激励挨拶されました。総会には全国6つの2世の会と被団協など13の団体個人からメッセージが寄せられました。会の立ち上がりの支援募金約20万円が寄せられました。



加百智津子さん

志賀雅子さん

県被爆者会土屋会長

## したたかに、しなやかに運動を

安齋科学・平和事務所/所長

記念講演で安齋育郎氏(立命館大学国際平和ミュージアム終身名誉館長)はなぜ「被爆2世・3世」が自らを組織するのかということから話され、父母や祖父母の非人道的体験を語り継ぐ伝達者として特別の説得力・可能性があると述べ、核兵器の非人道性を深く認識し、その使用を許さず、廃絶を求めるための組織として結成されたものと述べました。また、会の運動のあり方について、原水爆禁止運動の歴史の教訓(核戦争阻止、核兵器廃絶、被爆者援護・連帯の柱)に学んで、「常に大原則を確認しつつ、応用問題は答えを押し付けず連帯の旗を掲げ続けよう」と強調されました。



2世・3世の運動はしたたかに、しなやかに進めようと訴える安齋育郎先生 10/24 結成総会

## 国連軍縮週間行動

10月28日(水) 12:15~ 岡山駅西口 さんすて前

宣伝・署名行動をおこないます。ご参加ください。